

学校運営協議会（第3回）議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	令和3年2月15日（月）
開催場所	書面開催（新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策のため）
学校運営協議会委員	藤田 寿夫（会長） 八尾 康典（委員） 木下 清一（委員） 山田 末人（委員） 森近 美子（委員） 岩出 るり子（委員）
学校関係者	西村 誠三（校長） 長田 登起夫（教頭） 大根 智大（教頭） 清水 紀行（事務部長） 相馬 寿子（首席） 木下 達夫（首席） 西島 洋美（首席・高等部主事） 坂野 理恵（中学部主事） 上田 悠司（小学部主事）
送付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度学校経営計画及び学校評価（案） ・令和3年度学校経営計画（案） ・学校教育自己診断アンケート（教員分）結果報告 ・令和2年度第3回学校運営協議会 意見書及び承認書
備考	

議題（書面で意見をいただいた内容）
<ul style="list-style-type: none"> （1）学校教育自己診断（教員分）結果報告 （2）令和2年度 学校経営計画及び学校評価 （3）令和3年度 学校経営計画
協議内容・承認事項（意見の概要）
<p>（1）学校教育自己診断（教員分）結果報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の実践に対する教員の気持ち・取り組みが反映された良い結果と言える。今後も子どもたちが余裕をもって活動し、教員も気持ちに余裕をもって実践をしてほしい。 ・「チームティーチング」についての肯定的意見の向上は、学校全体の取り組みが実っているということである。 ・研修については、オンライン研修を進めていくなど、研修の仕方を考えていくことが重要。 ・項目5「いじめ（疑いを含む）が起こった時の体制が整っており、迅速に対応することができる」に対する回答「わからない」がまだ多いことについては、いじめの早期発見に支障をきたさないように危機感をもって分析をすすめてほしい。 ・肯定的意見が低い項目の共通の改善策として、教職員間の情報共有や会議の方法の工夫が必要ではないか。 <p>（2）令和2年度 学校経営計画及び学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めざす学校像」の4項目は支援学校にあっては、欠かすことのできない重要な項目である。中でも「安全安心な構内体制構築」は最重要と感じている。今後も組織として取り組んでほしい。 ・初任者に対するメンター・チューター制の取り組みが素晴らしいと感じた。

(3) 令和3年度 学校経営計画について

1 めざす学校像、2 中期的目標について承認いただいた。

【ご意見】

- ・保護者から信頼される学校となるためには、組織体としての学校力が必要。教育者としての人間性、障がい児教育の専門性等を組織として活かす取り組みを今後も続けてほしい。
- ・学校経営計画のダイジェスト版（フローチャート等による図式化）があれば、より視覚的・具体的に理解しやすい。
- ・コロナ禍で様々な制約がある中での取り組みとなると思うが、児童生徒のために教職員が団結して取り組むことが重要。
- ・項目ごとに、「何を」「いつまでに」「どうするのか」具体的に実行計画に落とし込むことが必要。